

## ほほえみ 第45号



7月は猛暑が続きました。台風も来ましたが、微妙にそれでヤレヤレと思ったのも、つかの間、また猛暑で気候が安定しないなあと思います。携帯電話に、毎日のように夕方になると、大雨洪水警報の知らせが入り、身構えてしまいますが、思った程は降らないことが多く、ちょっと肩すかしを食った感じでした。さんさ踊りの練習の音も、ちらほら聞こえてくると、盛岡の夏を感じます。

## 分子標的剤の副作用 間質性肺炎に関して

現在、がんの薬物療法においては、従来型の細胞を殺すタイプの抗がん剤と、分子標的薬といって、細胞の増殖シグナルを抑えたり、血管新生を抑えたりというタイプの一群の分子標的薬剤がありますが、最近では後者の占めるウエートが高くなってきています。分子標的薬は、本来はピンポイントでがんの特定の分子を攻撃するので、副作用が少ないと言われてきたのですが、分子標的薬の中でも、ピンポイントで攻撃するのではなく、何か所か作用点があるというタイプも出てきています。

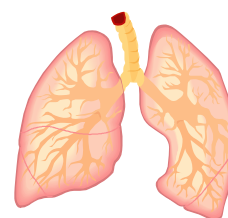
今、分子標的薬で特に問題になっている副作用に、間質性肺炎と皮膚障害が挙げられます。この二つのうち、間質性肺炎は通常はあまり起きない特殊な肺炎なのですが、分子標的薬によっては出現頻度が高いものも、報告されています。すべての分子標的薬に起こる訳ではないのですが、頻度の高い薬剤が存在するという訳です。この間質性肺炎に関しては、普通の肺炎とはどこが異なるのか、なかなか分かりにくいと思われます。

普通の肺炎は、感染症によって起こることがほとんどで、感染症の種類によって、細菌性肺炎であるとか、真菌性肺炎(真菌:カビの仲間)とか、診断名が変わってきます。基本的には、病原体がわかったら、それに対する薬剤を投与して感染をコントロールするという戦略になります。抗生物質や抗真菌剤などの薬剤が開発され、診断が着けば、それに対する特異的な治療をする訳です。

一方、間質性肺炎というのは、病原菌でおこる肺炎ではなくて、例えば分子標的剤の投与などによって、肺自体が障害され炎症を起こすと考えられています。つまり、炎症の引き金は、感染ではないので、抗生物質で単純に直せないような特殊な肺炎になるということです。肺自体が直接障害されるので、実は、厄介な肺炎であると考えられていて、原因を避ける以外には、炎症そのものを強制的に抑える治療が行われています。これが、ステロイド療法、特に大量のステロイドを短期間に投与する、ステロイドパルス療法と呼ばれるものです。

この治療は、原因そのものに根差したものではありませんので、効果が良い場合もあるし、そうでない場合もあるということになります。通常、抗がん剤による副作用は、程度によってグレードというのがあってグレード1(軽度)、グレード2(中等度)、グレード3(重度)などとなるのですが、間質性肺炎に限っては、軽度の間質性肺炎というのはなくて、仮に、臨床症状が軽くても、重度として扱うこととなっています。

そして、複雑なことに分子標的薬の種類によっては間質性肺炎が多少起こっても、症状が軽ければ投与を続けるものまであり、これが非常に判断に苦しむところですね。重大なことが起っていても、ギリギリまで投与する、近くまで火が迫っていても消火活動をするような感覚で、勇気が必要な治療ともいえるでしょう。



通常の肺炎

起炎菌が存在



抗生物質投与など

間質性肺炎

肺自体の炎症



ステロイド剤投与

### 第19回 東北臨床腫瘍セミナーに参加して

7月5日に仙台市で開催された、第19回東北臨床腫瘍セミナーに参加してきました。この会は、スケジュールが満載で時間が長引くことが多かったのですが、今回はきちんと時間通りに終わりました。乳がんの薬物療法、免疫療法の新規薬剤に関する話題でした。次回は11月29日に、盛岡のマリオスにて、加藤が当番世話人で開催する予定です。

### 第3回 がん哲学外来市民学会大会 第4回 がん哲学外来コーディネーター養成講座

7月12、13日に福井市で開催された、がん哲学外来関連の二つの会に参加してきました。個人的には父の転勤で5年間福井市に住んだことがあり、その当時の小学校の校舎も残っています。小学校1年生の時にこの校舎が出来たのですが、今や、時代を感じさせる感じがしますね。

さて、会の方は益々もって盛んになってきたというか、コーディネーター養成講座、大会ともに満員御礼でした。二日間とも内容は充実していたと思います。北海道から九州まで、本当に全国からこの会のために、市民の方々が多数参加されている姿には感動しますが、曲がりなりにもこの会に関わる者として、使命の重さを感じる二日間でもありました。ソースかつ丼とおろしそばを、主催者が養成講座の参加者に準備くださり、忙しい中にも福井の名物も味わえました。お土産は定番の「羽二重巻」ですね。



### 第12回 日本臨床腫瘍学会に参加して

7月17日から19日まで、福岡市で開催された第12回 日本臨床腫瘍学会総会に参加してきました。学会、研究会も流石に3週連続になると、移動が多いので体力的にきついですね。福岡に学会で出かけるのは4回目なのですが、いつもとんぼ返りになっています。今回も発表の直前に飛行機で福岡入りし、発表してその足で帰るという感じでした。その間に、いろいろと発表を聞いたり、会場で知り合いの先生方と情報交換したりなのですが、今回、福岡4回目にして、はじめて、水炊きを食べて来ました。

水炊きも美味しかったのですが、福岡は酒の肴が揃ったところで、サイドメニューが充実している印象でした。本当は、少しゆっくり、学会に参加しながら、各地の美味を堪能するというのが、学会に出かけるもう一つの楽しみなのですが、流石にラーメンまでは無理でした。



### MEMO

#### 8月のがん化学療法科の予定

- 8月1日 当院が、さんさ踊りに出場します。
- 8月8日 柴田教授外来
- 8月22日 新渡戸稲造記念メディカル・カフェ
- 8月22日 柴田教授外来

お盆の期間ですが、当科は通常通り外来を行います。



盛岡さんさ踊り 公式ホームページより